

2020年3月期 第2四半期 決算説明会 決算概要

2019年11月18日

 **株式会社アルファシステムズ**

専務取締役管理本部本部長 土倉 勝美

2020年3月期第2四半期 経営成績

～業績は概ね計画通りに進んでいます～

情報サービス業界の動向

☆幅広い分野でシステム投資が堅調に推移

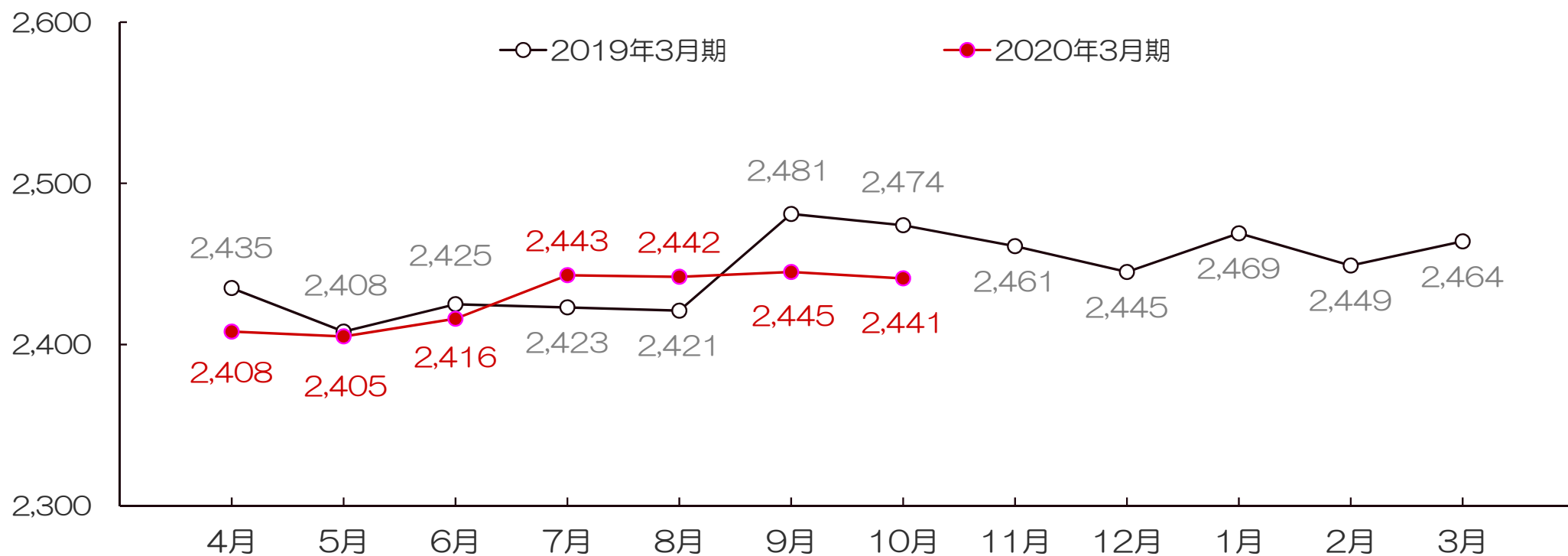
オープンシステム分野 : ICTの戦略的な活用が進む

通信システム分野 : 5Gの整備・活用に向けた取り組みが様々な領域へ広がりをみせる 【金額単位：百万円】

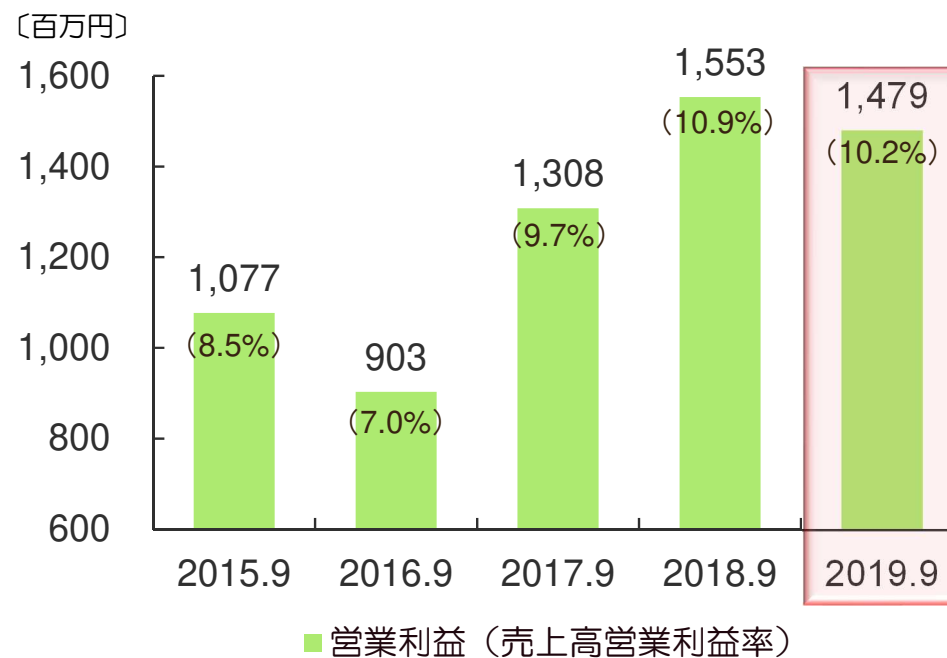
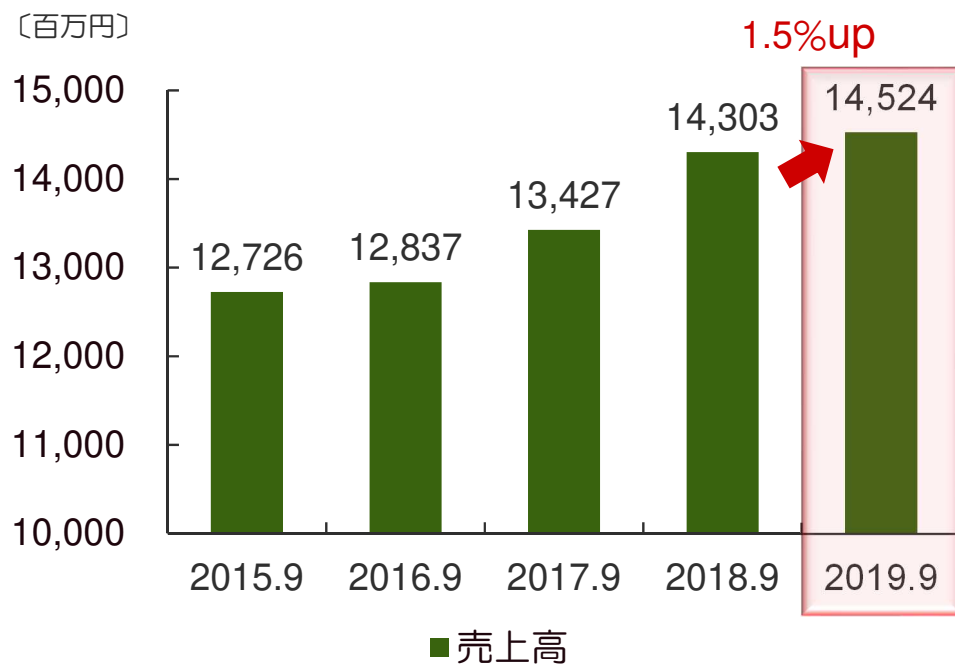
	2019年3月期（第2四半期）		2020年3月期（第2四半期）		前 増	期 減	比 率	対業績予想 達成率
	実績金額	売上比	実績金額	売上比				
売上高	14,303	—	14,524	—		1.5%	99.5%	
営業利益	1,553	10.9%	1,479	10.2%	▲	4.8%	98.6%	
四半期純利益	1,070	7.5%	1,012	7.0%	▲	5.4%	101.3%	
1株当たり 四半期純利益	72.69円	—	72.13円	—		—	—	

2020年3月期第2四半期 受注高の推移(12ヵ月移動平均)

【金額単位：百万円】



2020年3月期第2四半期 売上高・営業利益



- オープンシステム分野
→ 公共関連や流通・サービス関連の売上が増加
- 組み込みシステム分野
→ 車載システム関連の売上が増加

5年連続増収
第2四半期の
売上高として
過去最高を更新

売上高営業利益率
2年連続で10%台を達成

2020年3月期第2四半期 売上原価・販管費

【金額単位：百万円】

売上原価（売上原価率 前期比 0.2ポイント悪化）

- 若手従業員の待遇改善（昇給）による人件費の上昇

販管費（売上高販管費率 前期比 0.6ポイント悪化）

- 開発体制の拡充を目的とした通年採用の実施や、新人の研修期間長期化による人件費の上昇

（販管費の主な内訳）

- 人件費 1,622百万円（前期比 136百万円増）
- 募集費 15百万円（前期比 1百万円増）
- 研修費 12百万円（前期比 1百万円増）

※ 営業利益は第1四半期の足踏み状態から回復

	2019年3月期			2020年3月期		
	第1四半期	第2四半期	計	第1四半期	第2四半期	計
売上高	6,818	7,484	14,303	6,798	7,725	14,524
（前期比増減率）	5.0%	8.0%	6.5%	▲0.3%	3.2%	1.5%
売上原価	5,047	5,811	10,859	5,222	5,823	11,046
（前期比増減率）	2.5%	9.3%	6.0%	3.5%	0.2%	1.7%
（売上比）	74.0%	77.6%	75.9%	76.8%	75.4%	76.1%
販管費	982	907	1,889	1,049	949	1,998
（前期比増減率）	1.5%	▲0.1%	0.7%	6.8%	4.6%	5.7%
（売上比）	14.4%	12.1%	13.2%	15.4%	12.3%	13.8%
営業利益	788	765	1,553	526	952	1,479
（前期比増減率）	30.9%	8.4%	18.8%	▲33.2%	24.5%	▲4.8%
（売上比）	11.6%	10.2%	10.9%	7.7%	12.3%	10.2%

2020年3月期第2四半期（要約）貸借対照表・キャッシュ・フロー計算書

【金額単位：百万円】

	2019年3月期 (期 末)	2020年3月期 (第2四半期)	前 増	期 減	比 率
資産の部	40,130	40,390			260
流動資産	24,817	24,577		▲240	
固定資産	15,312	15,812		500	
負債の部	6,854	6,450		▲403	
流動負債	5,906	5,396		▲509	
固定負債	948	1,054		105	
純資産の部	33,275	33,940		664	
株主資本	33,256	33,918		661	
評価・換算差額等	18	21		2	
自己資本比率	82.9%	84.0%		—	
1株当たり純資産	2,370.06円	2,417.37円		47.31円	

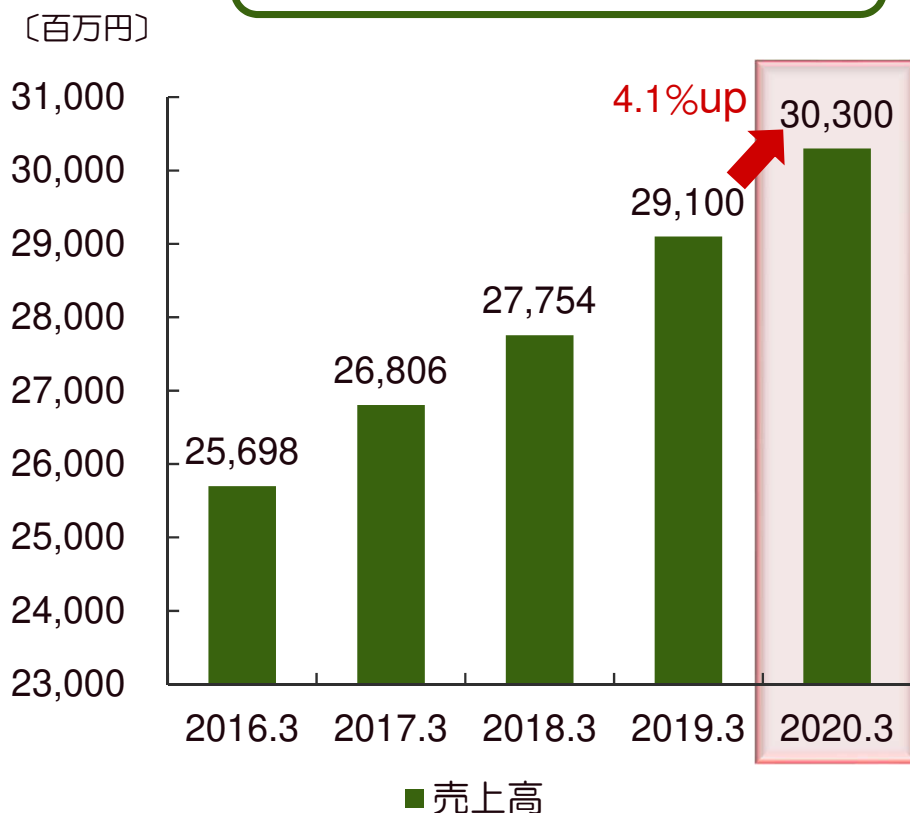
【金額単位：百万円】

	2019年3月期 (第2四半期)	2020年3月期 (第2四半期)	前 増	期 減	比 率
営業活動C F	1,498	1,424		▲4.9%	
投資活動C F	▲1,116	▲447		▲60.0%	
財務活動C F	(※1) ▲2,703	▲351		▲87.0%	
現金等増減額	▲2,322	626		—	
現金等期首残高	16,657	16,048		▲3.7%	
現金等期末残高	14,335	16,674		16.3%	

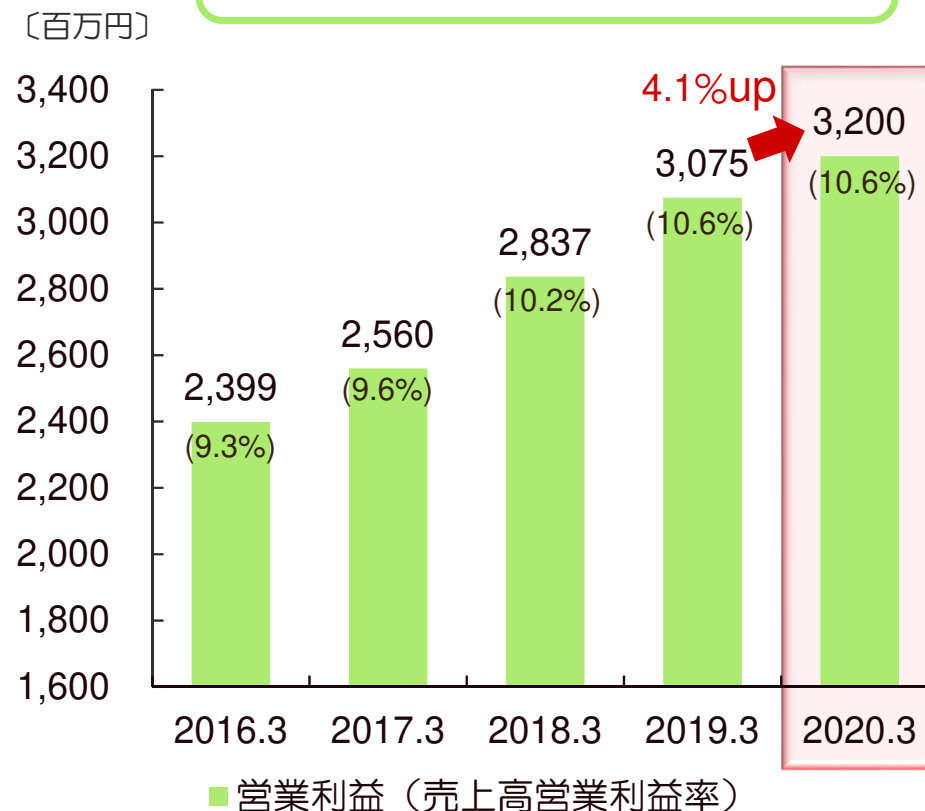
(※1) 自己株式の取得▲2,332百万円を含む

2020年3月期 売上高・営業利益の見通し

8年連続増収、300億円を超え
過去最高売上への更新を見込む



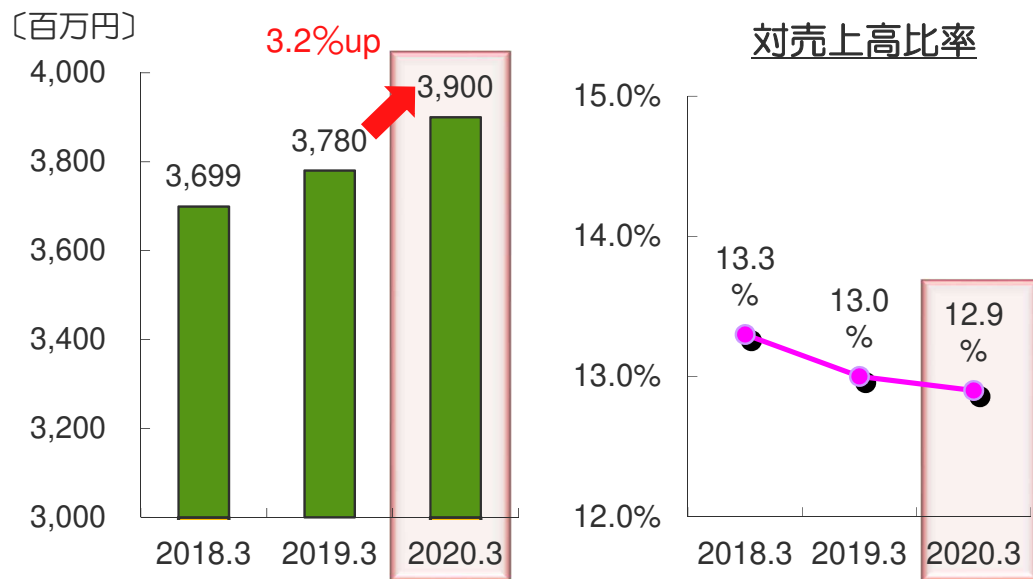
5年連続増益
営業利益率10%台の維持を予想



2020年3月期 販管費・設備投資の見通し

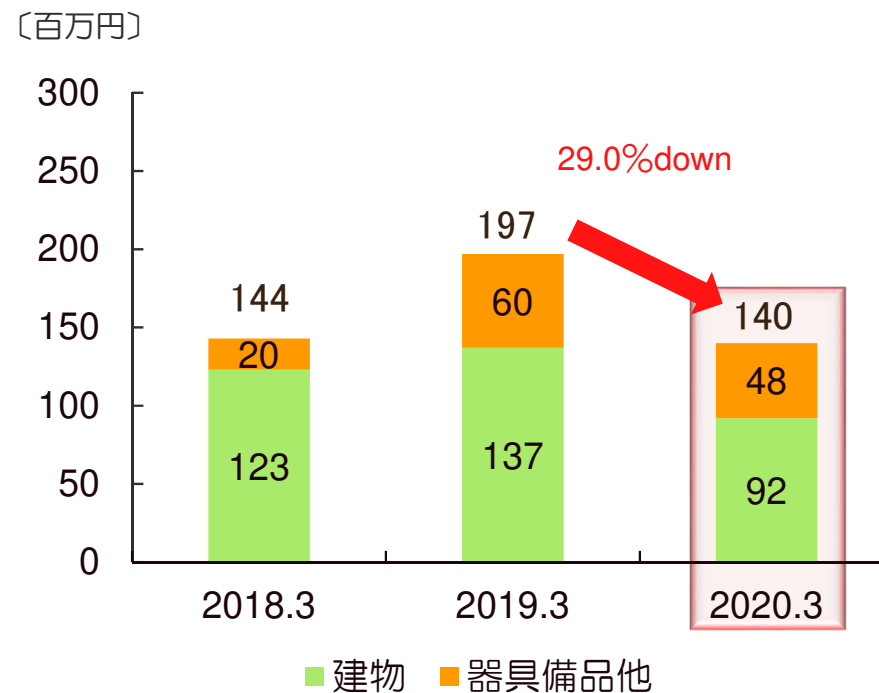
販管費

- 開発要員の採用コストの増加を予想
- 新人研修の長期化や階層別研修の充実に伴う研修費の増加を予想



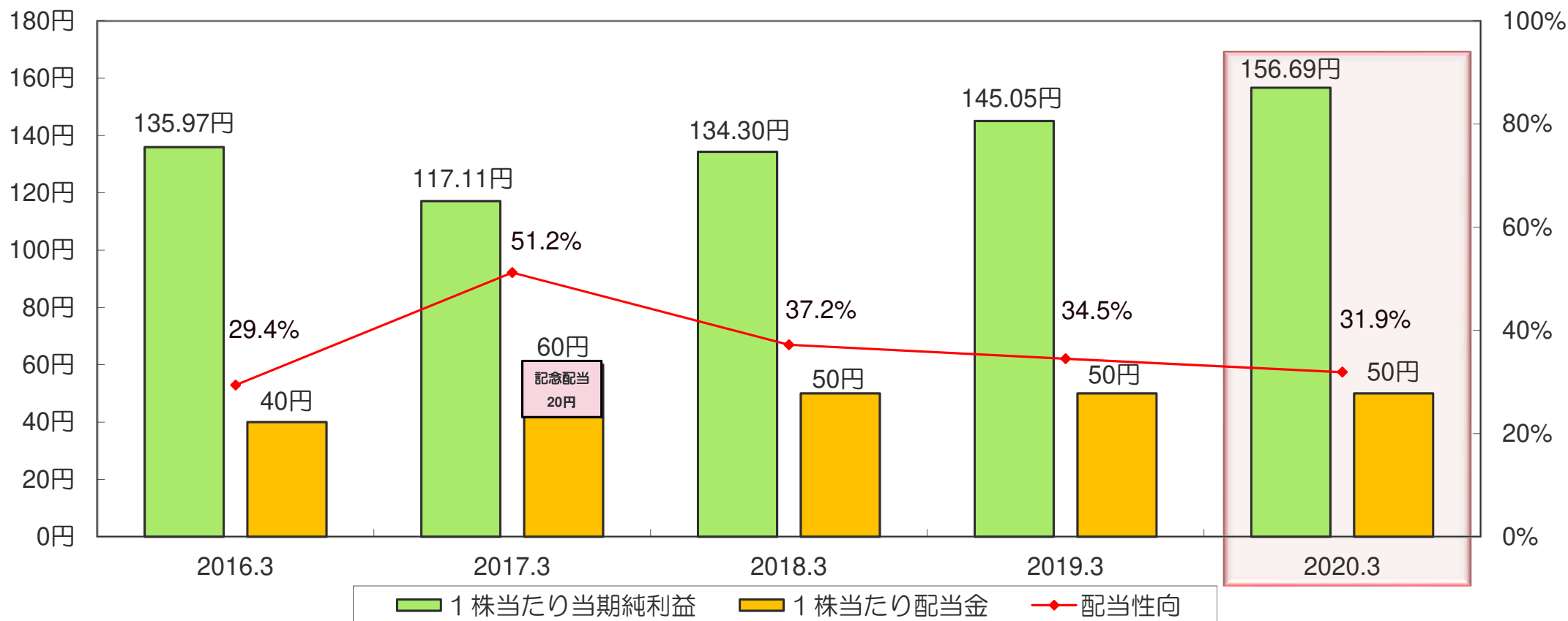
設備投資

- 建物：開発センターの照明のLED化、入退室管理システムの更新を計画的に実施



配当について

- 中間配当は1株当たり25円といたします。
- 期末配当は1株当たり25円を予定しております。



主要数値の推移

【金額単位：百万円】

	2016年3月期	2017年3月期	2018年3月期	2019年3月期	2020年3月期 (予想)
売上高	25,698	26,806	27,754	29,100	30,300
前期比増減率	3.5%	4.3%	3.5%	4.8%	4.1%
営業利益	2,399	2,560	2,837	3,075	3,200
前期比増減率	20.7%	6.7%	10.8%	8.4%	4.1%
対売上高比率	9.3%	9.6%	10.2%	10.6%	10.6%
当期純利益	2,017	1,737	1,992	2,089	2,200
前期比増減率	15.0%	▲13.9%	14.7%	4.9%	5.3%
対売上高比率	7.9%	6.5%	7.2%	7.2%	7.3%
販売費及び一般管理費	3,567	3,603	3,699	3,780	3,900
前期比増減率	8.1%	1.0%	2.7%	2.2%	3.2%
対売上高比率	13.9%	13.4%	13.3%	13.0%	12.9%
設備投資	75	987	144	197	140
前期比増減率	142.2%	1,210.9%	▲85.4%	36.5%	▲29.0%
減価償却費	256	258	250	259	270
前期比増減率	▲9.6%	0.9%	▲3.2%	3.4%	4.2%
1株当たり当期純利益 (EPS)	135.97円	117.11円	134.30円	145.05円	156.69円
自己資本純利益率 (ROE)	6.4%	5.3%	5.9%	6.2%	6.5%



株式会社アルファシステムズ

<https://www.alpha.co.jp/>

<本資料の取扱上のご注意>

業績予想等につきましては、本資料の発表日現在当社が入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性がありますので、あらかじめご了承ください。

<本資料に関する問い合わせ>

〒211-0053 川崎市中原区上小田中6丁目6番1号 本社(中原テクノセンター1号館)

株式会社アルファシステムズ 経営企画本部 広報室

TEL(044)733-4111(代) E-mail: ir@alpha.co.jp

2020年3月期 第2四半期 決算説明会 事業の状況について

2019年11月18日

 **株式会社アルファシステムズ**

代表取締役社長 黒田 憲一

目次

- 2020年3月期 通期売上計画（期首時点）
- 2020年3月期 第2四半期の状況
- 当社を取り巻く事業環境
- 経営課題への対応状況
- 2020年3月期 通期見通し

2020年3月期 通期売上計画(期首時点)

オープンシステムの公共、流通サービスに注力し、売り上げ拡大

通信システム

5G関連受注も、減少傾向

オープンシステム

公共、流通・サービスの成長領域で収益基盤拡大

組み込みシステム

OA機器減少見込みも、車載システムでの増加を期待

売上計画(期首時点)

(百万円)	2019.3	2020.3	増減額	増減率	構成比率
通信システム	10,572	9,750	▲822	▲7.8%	32.1%
ノード	2,647	2,400	▲247	▲9.4%	7.9%
モバイルネットワーク	2,692	2,100	▲592	▲22.0%	6.9%
ネットワークマネジメント	5,231	5,250	19	0.4%	17.3%
オープンシステム	15,887	17,400	1,513	9.5%	57.5%
公共	5,011	5,600	589	11.7%	18.5%
流通・サービス	6,734	7,300	566	8.4%	24.1%
金融	1,536	1,500	▲36	▲2.4%	5.0%
その他	2,604	3,000	396	15.2%	9.9%
組み込みシステム	1,432	1,800	368	25.7%	5.9%
プロダクト・サービス	1,208	1,350	142	11.7%	4.5%

2020年3月期 第2四半期の状況

systems

2020年3月期 第2四半期の状況

良好な受注環境は継続、大型案件の収束等から今期は緩やかな滑り出し

百万円 (前年同期増減率)	売上高	受注高	営業利益	説明
全体	14,524 (1.5%)	14,720 (▲1.5%)	1,479 (▲4.8%)	上半期としては、売上高は過去最高 営業利益率は10.2%
ソフトウェア開発	14,093 (2.6%)	14,328 (▲0.5%)	1,464* (▲3.0%)	売上高は、前年同期より352百万円増加 受注高は、同 78百万円減少
プロダクト・サービス ("その他"事業)	430 (▲23.4%)	391 (▲27.9%)	18* (▲62.0%)	今期計画に対する進捗は見込みどおり

*は「セグメント利益」。別途調整額3百万円あり。

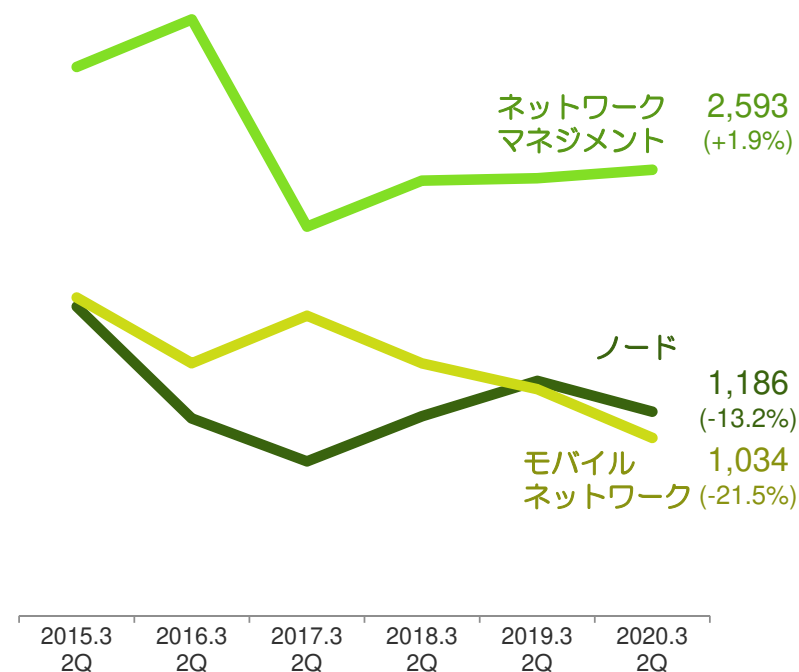
事業区分別の状況(通信システム)

期初の予想通り、減少

ノード	交換システム関連が減少
モバイルネットワーク	5G関連受注も、業務用無線基地局関連が減少
ネットワークマネジメント	NGN関連の受注が堅調も、前期と同水準

(百万円)	2019.3 2Q	2020.3 2Q	増減額	増減率
通信システム	5,229	4,814	▲415	▲7.9%
ノード	1,366	1,186	▲180	▲13.2%
モバイルネットワーク	1,317	1,034	▲283	▲21.5%
ネットワークマネジメント	2,544	2,593	48	1.9%

通信システム売上高内訳(百万円)



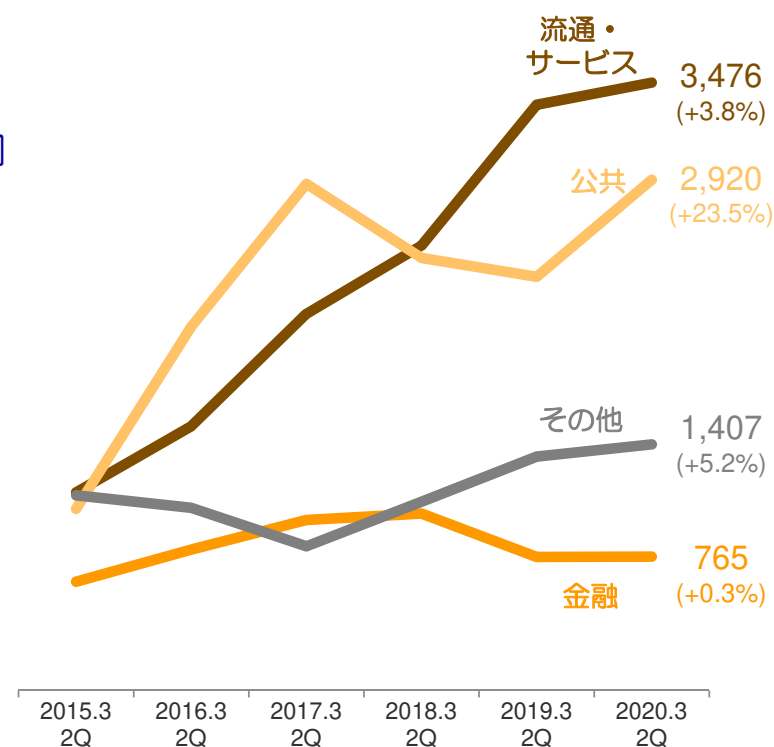
事業区分別の状況(オープンシステム)

公共が大幅拡大し、10期連続の増加

公共	官公庁向けシステム、エネルギー関連が堅調
流通・サービス	流通システム、ネットビジネス関連が増加
金融	決済関連システムが減少も勘定系システムが増加
その他	企業向け情報システム関連が増加

(百万円)	2019.3 2Q	2020.3 2Q	増減額	増減率
オープンシステム	7,815	8,569	754	9.6%
公共	2,365	2,920	555	23.5%
流通・サービス	3,349	3,476	126	3.8%
金融	763	765	2	0.3%
その他	1,337	1,407	69	5.2%

オープンシステム売上高内訳(百万円)



事業区分別の状況(売上高の推移)

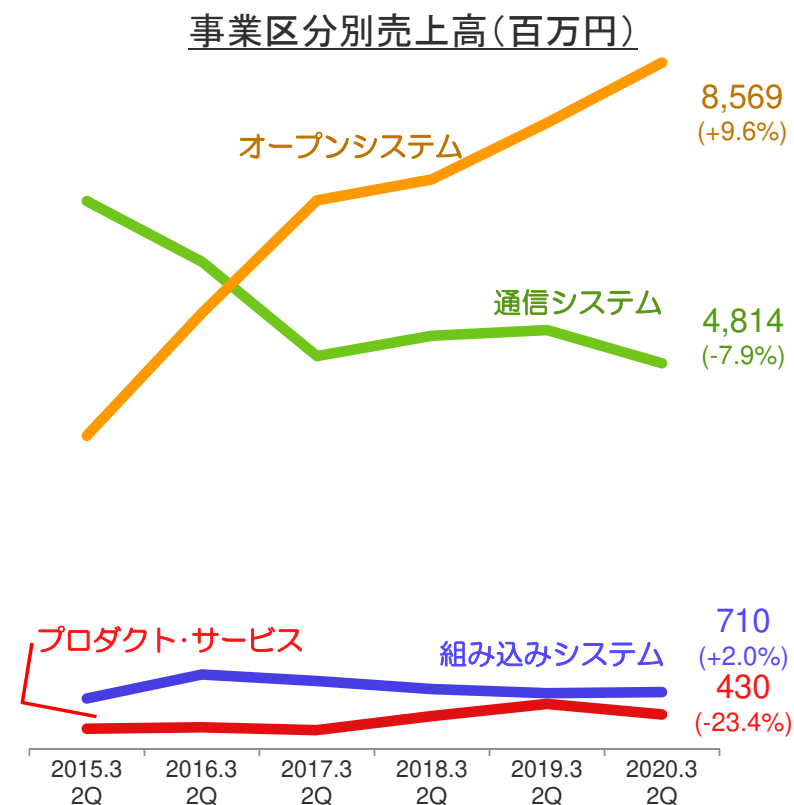
通信システムは減少

オープンシステムは増加継続

組み込みシステムは車載関連が期待ほど伸長せず

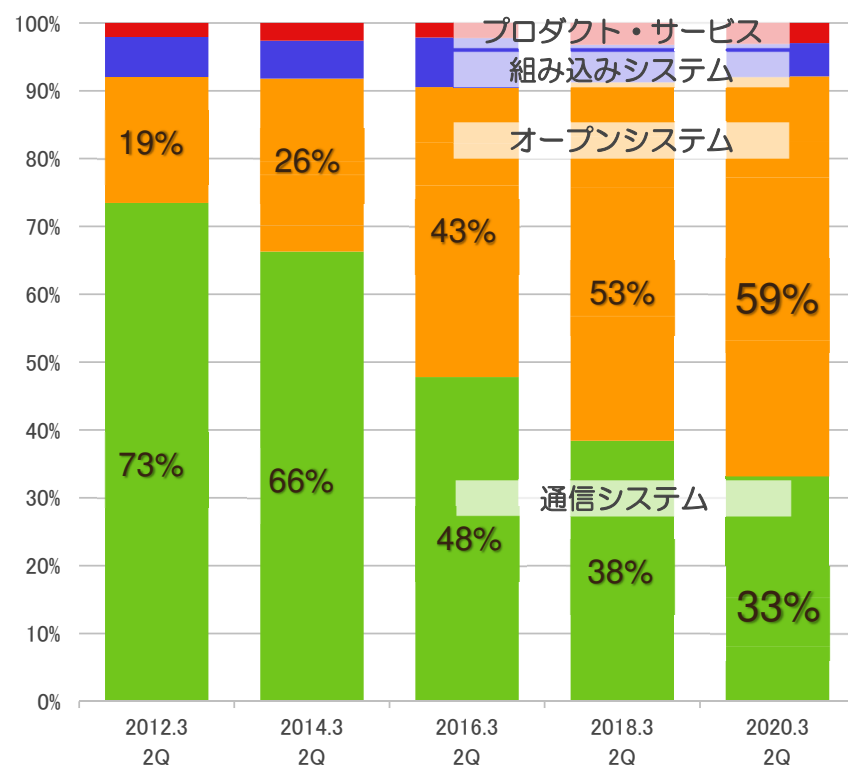
プロダクト・サービスは前期と比べて下期偏重

(百万円)	2019.3 2Q	2020.3 2Q	増減額	増減率
通信システム	5,229	4,814	▲415	▲7.9%
オープンシステム	7,815	8,569	754	9.6%
組み込みシステム	696	710	13	2.0%
プロダクト・サービス	562	430	▲131	▲23.4%

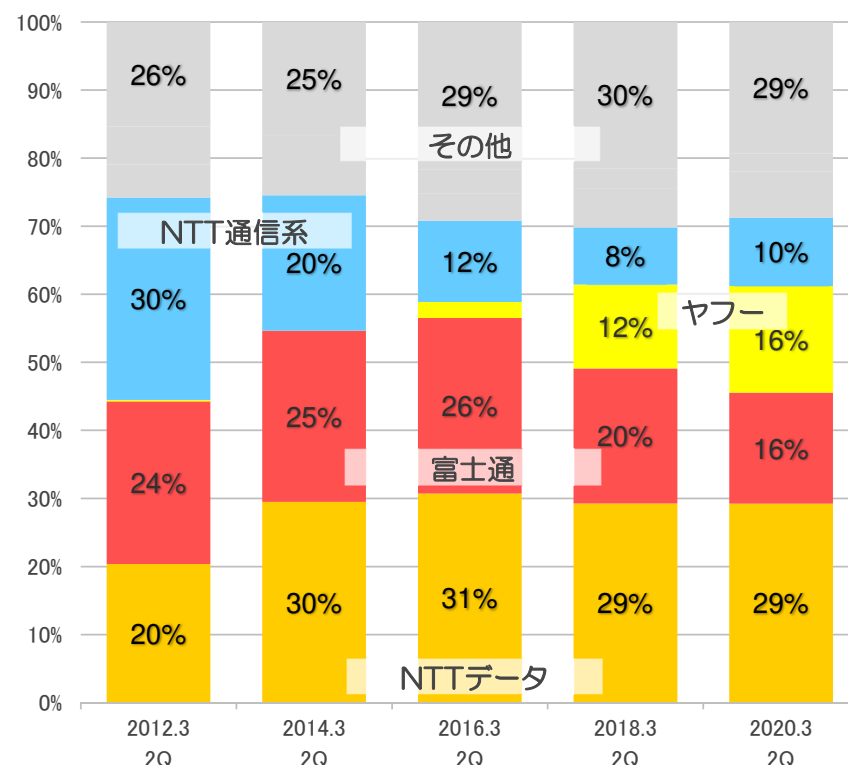


事業区分・主要取引先の状況

事業区分別



主要なお客様グループ別



当社を取り巻く事業環境

systems

事業環境の変化 ～国内ICT市場、5Gベンダの動向～

再掲

市場環境は良好、引き続き堅調なIT投資に期待も、DXには課題山積

国内ICT主要市場の規模予測

市場	分野	2018年	2021年	2024年	年平均成長率
デバイス	4Kテレビ	738万世帯	2,163万世帯	2,696万世帯	24.1%
	スマートスピーカー	370万世帯	1,006万世帯	2,198万世帯	34.6%
	ロボット市場	1,203億円	1,807億円	2,490億円	12.9%
	産業用ドローン	319億円	716億円	1,517億円	29.7%
プラットフォーム	クラウドサービス	8,460億円	15,600億円	24,300億円	19.2%
	IoT	43,400億円	59,500億円	75,500億円	9.7%
	シェアリングエコノミー	3,228億円	6,173億円	12,307億円	25.0%
xTech	FinTech (金融: スマートバンク/フィンテック)	78兆円	103兆円	122兆円	7.7%
	ロボアドバイザー	2,700億円	12,000億円	17,000億円	35.9%
	RetailTech (小売: 私チャットコマース/B2C EC)	76兆円	89兆円	103兆円	5.3%
	AdTech (広告: インターネット広告)	11,155億円	12,792億円	13,797億円	3.6%

出典: 野村総合研究所「ITナビゲーター2019年版」

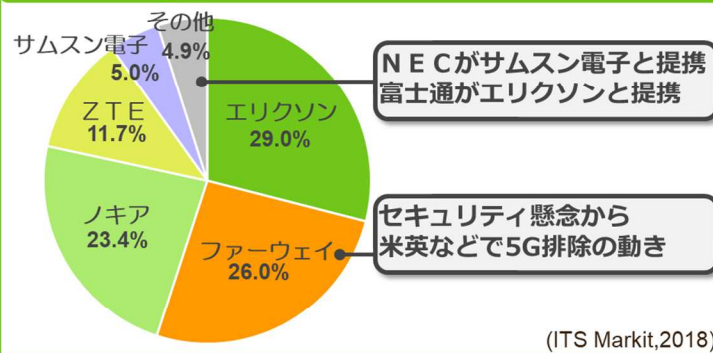
「2025年の崖」への備え

2025年の崖 課題を克服できない場合、DXが実現できないのみでなく、最大1兆2千億円/年の経済損失が生じる可能性

現在 2025年

シェアの9割は海外勢、国内勢は海外ベンダーとの提携に活路

携帯通信インフラ市場シェア



通信キャリアの動向

- docomo** 2019年9月20日
▶ラグビーW杯で無償サービス先行開始
- au** 2019年
▶用途限定・一部エリアでトライアル開始
- SoftBank** 2019年夏以降
▶ヤフオクドームなどでトライアル開始
- Rakuten Mobile** 2019年通信事業参入
▶10月 4Gサービス開始、5GはFWAから

来春本サービス開始

チップ/基地局共にベンダは海外中心

エリア、用途限定で試験サービス開始

当面は... 4G (LTE) との連携から開始

段階的なシフト

2021年以降... 4G非依存 基盤展開率50%以上へ (ドコモ・KDDIは90%以上)

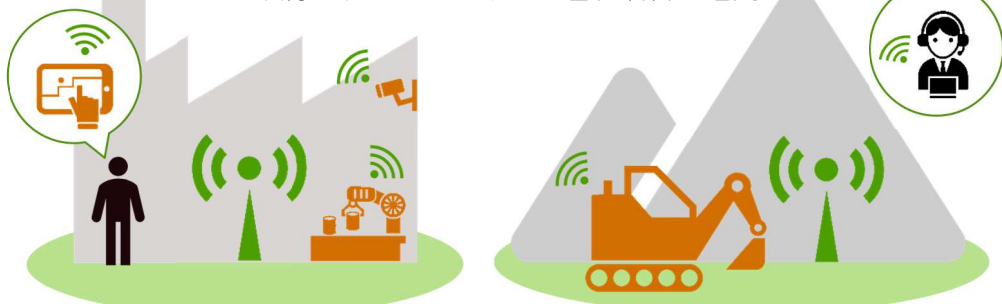
事業環境の変化 ～ローカル5G利活用、ポスト5G構想～

「ローカル5G」が5G普及の起爆剤に、ポスト5G構想も着々と進行中

ローカル5Gによる「地域での利活用」

民間事業者が通信事業者のカバーエリアに依存せず、
必要なエリアにサービスを提供

映像・データを入手して各種制御に活用



スマートファクトリー
(屋内利用)

重機遠隔操作
(敷地内利用)

5Gの恩恵を地方創生に活用。通信事業者と
民間事業者の両輪で5G普及を加速

革新的なネットワーク構想「IOWN」

ポスト5G時代を支える革新的な光ネットワーク構想
IOWN (Innovative Optical and Wireless Network)

注力する11
の分野

人工知能

仮想現実/拡張現実

ヒューマン・マシン・インターフェース

セキュリティ

ネットワーク

エネルギー

情報処理基盤

バイオメディカル

量子コンピューティング

先端素材

アディティブ・マニュファクチャリング



NTT、ソニー・米インテルと連携
業界団体「IOWN Global Forum」を設立

経営課題への対応状況

systems

事業方針と経営戦略

事業方針

持続的な成長に向けた事業基盤の強化とさらなる優位性の獲得

経営戦略

システム開発事業の基盤拡大
新たな収益源となるビジネスの創出

経営課題

オープンシステム事業の収益基盤拡大
人的パワーの拡充
先端技術の積極活用
プロダクト・サービスビジネスの拡大

成長の基盤となる事業領域への選択と集中

通信システムの動向に注視しつつ、成長領域の収益基盤を拡大

通信システム

将来的なビジネス拡大に期待も、
今期の売り上げには直結せず

▶ 「ローカル5G」活用による5G普及



重機遠隔操作



スマート
ファクトリー



スマート
スタジアム

▶ NTTの新ネットワーク構想「IOWN」

ポスト5G時代を支える革新的な光ネットワーク。大容量、低遅延、低消費電力、かつ柔軟性に優れ、情報処理部分までを含めた光化を目指す。



オープンシステム

顧客のデジタルビジネスへの移行が進展

公共



高水準な公共投資が継続

大規模システム開発のノウハウ活用

流通・サービス



ネットビジネスは巨大な成長市場

アジャイル要員の組織的育成

取組状況

目論見通りに、売り上げ推移

通信システム ▶ 前期比7.9%減

オープンシステム ▶ 前期比9.6%増

公共 ▶ 前期比23.5%増

流通・サービス ▶ 前期比3.8%増

公共

現在の方針を踏襲、引き続き

流通・サービス

当社の成長領域と捉え、
収益基盤を拡大

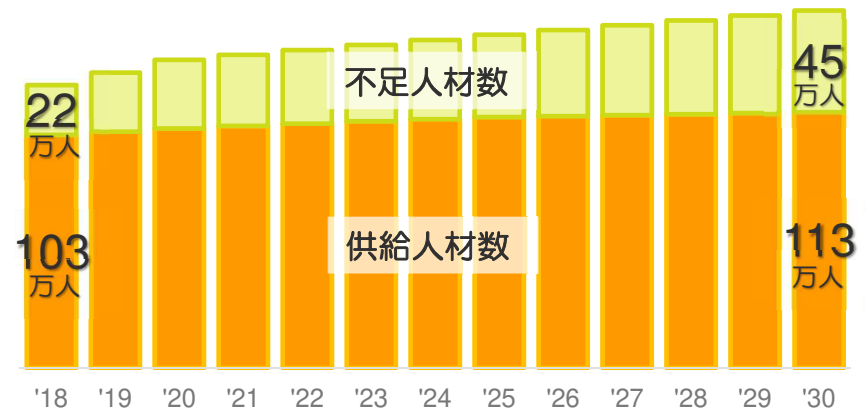
採用強化と働き方改革

通年採用への移行と働き方改革により開発体制を拡大

IT人材不足は恒常化

将来的なIT人材不足に加え、採用環境も変化

IT人材の恒久的な不足



出典：経済産業省「IT人材需給に関する調査（概要）」

環境変化

- 市場の変化**
- ・ 売り手市場
 - ・ 大卒求人倍率1.88倍
 - ・ 先端IT人材の不足

- 仕組みの変化**
- ・ 経団連による就活ルールの見直し
 - ・ 採用チャネル多様化

取組状況

採用人数の拡大と人材の定着を推進



社員数と採用数の推移

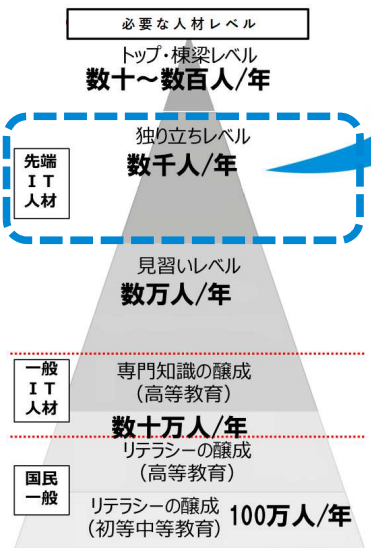
	2018.3	2019.3	2020.3	2021.3
社員数(期末)	2,565(+19)	2,664(+99)	—	—
採用数	新卒	119	149	122
	第二新卒	0	38	(130)

デジタル時代への対応

デジタル市場の拡大に向け、先端IT人材育成を加速

先端IT人材を取り巻く環境

デジタル案件の増加を見据え、先端IT人材の育成が急務



先端IT人材の不足

AI、IoTなど先端的なITを担う人材が2030年に45万人不足するとの試算

デジタル市場の拡大

	従来型IT サービス市場	デジタル 市場
2017年	90%	10%
2025年	60%	40%

出典：内閣府「重要課題専門調査会（第14回）人工知能技術戦略会議の検討状況」
出典：経済産業省「DXレポート～ITシステム「2025年の崖」克服とDXの本格的な展開～」

取組状況

来るべきDX時代に向け、開発推進部でデジタル人材を育成

先
端
技
術
の
修
得
と
人
材
育
成

- AI** AIライブラリ、フレームワーク研究
- IoT** エッジコンピューティング技術の習得
- Mobility** 車載技術の調査研究、要員育成
- クラウド** AWS/Azure/GCP技術習得



アジャイル開発要員の育成を継続

大規模アジャイルの調査研究

自社ソリューションによる収益拡大

V-Bootビジネスの拡大と新製品の付加価値向上



文教ソリューション

お客様の予算に合わせたラインナップでソリューション拡大

ハイエンド
モデル

PC運用システム

V-Boot

エントリ～
ミドルモデル

環境復元システム

V-Recover



法人向けソリューション

働き方改革／パンデミック対策で注目の
「リモートワーク」市場向けに「V-Worker」を発売

負荷分散方式

リモートアクセスシステム **V-Worker**
社外から社内ファイルを安全に操作できる！

ビジネス拡大への取組

製品・サービスのブラッシュアップ

全工程自社開発
による高い品質



お客様要望の
把握と製品
フィードバック

＝ **Made in Kawasaki** の強みを活かして
教育委員会や小中学校へ販売展開



ビジネス規模拡大



サポートサイト公開

大手ベンダとの協業推進

構築レクチャー

販売・構築パートナーの
新規開拓、協力体制強化

拡大の取組が
結実の兆し

着実な
商談獲得

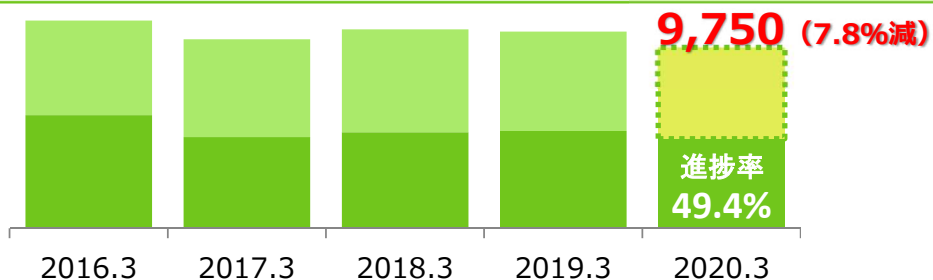
2020年3月期 通期見通し

systems

2020年3月期 見通し

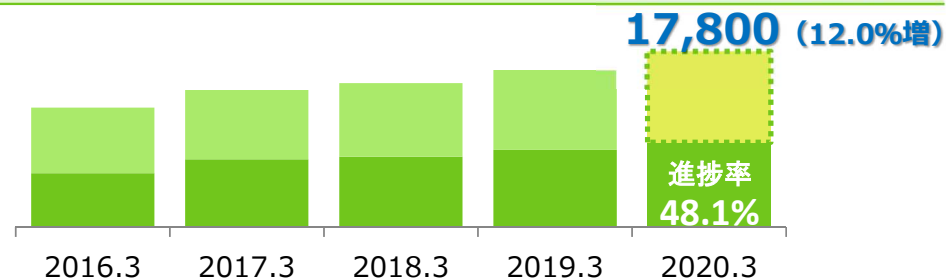
通信システム

NGN関連で、受注継続。モバイルネットワークは携帯端末関連が減少、5G案件は限定的。



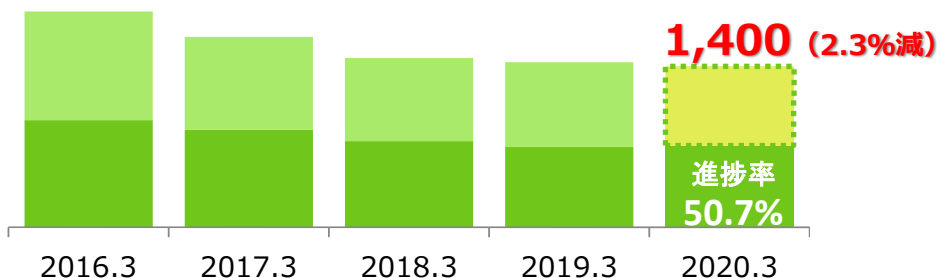
オープンシステム 見通し変更

公共は、官公庁、エネルギー関連ともに堅調。流通・サービスは、Eコマース、ネットビジネス関連が増加。



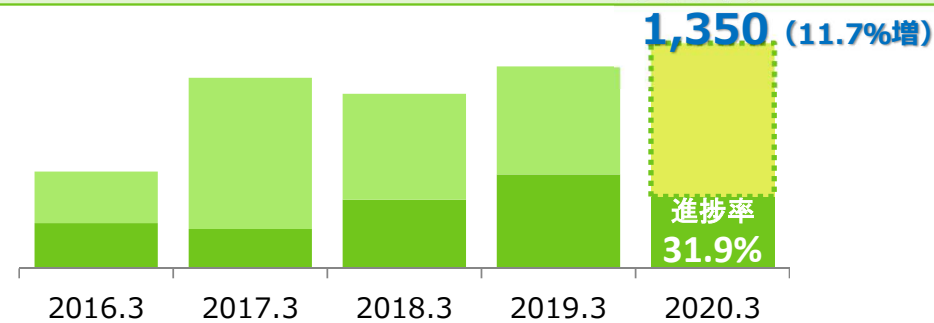
組み込みシステム 見通し変更

OA機器関連が減少。当初計画と比較し、車載システム関連が期待ほど伸長せず。



プロダクト・サービス

上期進捗率は31.9%も商談は活発。文教ソリューションの拡大は計画通り進行中。



2020年3月期 見通し

業績見通し

(百万円)	2018.3	2019.3	2020.3	増減額 (増減率)
売上高	27,754	29,100	30,300	1,200 (4.1%)
ソフトウェア 開発	26,710	27,891	28,950	1,059 (3.8%)
プロダクト・ サービス ("その他"事業)	1,044	1,208	1,350	142 (11.7%)
営業利益	2,837	3,075	3,200	125 (4.1%)

**上期実績を踏まえ、
通期見通しを見直し(青字箇所)**

ソフトウェア開発関連事業の見通し(内訳)

(百万円)	2019.3	2020.3	増減額	増減率	構成 比率
通信システム	10,572	9,750	▲822	▲7.8%	32.1%
ノード	2,647	2,400	▲247	▲9.4%	7.9%
モバイルネットワーク	2,692	2,100	▲592	▲22.0%	6.9%
ネットワークマネジメント	5,231	5,250	19	0.4%	17.3%
オープンシステム	15,887	17,800	1,913	12.0%	58.8%
公共	5,011	6,000	989	19.7%	19.8%
流通・サービス	6,734	7,300	566	8.4%	24.1%
金融	1,536	1,500	▲36	▲2.4%	5.0%
その他	2,604	3,000	396	15.2%	9.9%
組み込みシステム	1,432	1,400	▲32	▲2.3%	4.6%

オープン
システム事業の
収益基盤拡大

人的パワーの
拡充

マーケット・お客様の動向を見据えた戦略により
持続的な成長と安定した収益基盤を構築

先端技術の
積極活用

プロダクト・
サービスビジネス
の拡大



株式会社アルファシステムズ

<https://www.alpha.co.jp/>

<本資料の取扱上のご注意>

業績予想等につきましては、本資料の発表日現在におきまして入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる場合がありますので、あらかじめ、ご了承ください。

<本資料に関する問い合わせ>

〒211-0053 川崎市中原区上小田中6丁目6番1号 本社(中原テクノセンター1号館)

株式会社アルファシステムズ 経営企画本部 広報室

TEL(044)733-4111(代) E-mail: ir@alpha.co.jp